

ORYZA CSR REPORT 2024



(対象期間:2024 年 1 月 1 日~12 月 31 日)
ORYZA OIL & FAT CHEMICAL CO.,LTD.

SDGs宣言

自然と共生した社会の実現を目指し、
未来に選ばれる企業としてSDGsに取り組んでいます



原料調達を国内の過疎地域や貧困と言われる海外の地域からも行い、特にフェアトレードを重視した対応をしています。



天然資源や未利用資源を食に活かす取組みを事業として行っています。近隣地域の仕入れ先を重視し、特に主食であるコメの安定生産を支えています。



自然の力を利用した健康づくりに寄与する製品の開発に注力し、世界に向けてGMOフリー、アレルギーフリー、ハラール認証取得製品を製造しています。さらに、高齢者・障がい者・病気を抱える社員でも働ける職場環境を整備し、働きやすい職場づくりを行っています。



地元中学生を職場体験の場として受け入れ、労働体験と食育の機会を提供しています。工場には専用の見学コースを設け、取引先や学生のみならず、工場見学にも対応しています。



女性・高齢者にとって働きやすい環境を整備し、採用・昇格は性別・国籍による差別的取扱いを排除しています。女性管理職の積極登用、パート社員の社員登用を推進しています。



定期的にモニタリングできる水質検査と設備点検を励行し、先進的な排水処理設備への更改を計画しています。



CO₂の排出量を低減する目的で高効率のガスボイラーを使用しています。包装資材については製品の安全性を確保したうえで、再生可能な資材導入に向けた検討を行っています。またデータとしての紙媒体を減らすよう工夫し、不要となった紙媒体は再生紙としてリサイクルしています。



性別・年齢に関わらず活躍できる職場づくりを実践しています。子育て世代が必要とする時短勤務やテレワーク勤務についても対応しています。



世界中から情報を集め、最新の知識・技術を製品開発に活かしています。さらには長年にわたる分析データの蓄積は経験値として研究開発はもちろん、モノづくりに反映させています。国内はもとより、海外パートナー企業との技術協力も積極的に推進しています。



海外人材を積極採用し、外国語に対応した情報発信を行っています。またハラール対応商品群の増強にも努め、世界に向けて幅広く商品提供を行っています。



地域との連携・調和を大切に、主として地域での雇用創出に注力しています。また会社保有の駐車場を地域住民に「緊急避難場所」として提供し、本社構内を地域防災啓発訓練の場所として提供しています。



自社において、製品開発・分析・製造できる先進的な設備を保有しています。過剰在庫の抑制や環境への影響が少ない資材の使用を推進しています。抽出後に発生する残渣は、出来る限り破棄せず、肥料等へ再利用しています。



CO₂排出量の少ない空調設備や低温暖化冷媒を使用した冷蔵・冷凍コンテナへの切り替えを順次進めてまいります。



工業用水の適正な管理に加え、先進的な廃水処理システムの導入と、溶剤・試薬の適正管理と削減に努めています。



森林破壊につながる原材料の使用や製品づくりは排除し、過剰な資材の低減に努めています。又、土に返すべき使用後の天然物を出来る限り肥料へ再利用する取り組みをしています。



会社独自の行動指針として「公正且つ誠実な業務遂行」を定めています。



世界レベルで産官学のパートナーシップ強化を意識しています。大学との共同研究、地域企業との連携で新たな素材・製品の開発に取り組んでいます。既存のサプライヤーとの連携を密にするとともに反社会的勢力との取引は排除する姿勢を維持しています。

-目次-

01	企業理念・行動指針 P1
02	インパクトの特定と KPI・目標設定 P2
03	環境 P5
04	労働安全衛生 P11
05	労働環境 P15
06	持続可能な資材調達 P19
07	倫理・情報セキュリティ P23



01. 企業理念・行動指針

オリザ油化株式会社

【企業理念】

『世界中の人々の健康と美を実現する。』

【行動指針】

1. 私たちは、自然の力を利用した健康づくりに、弛まずグローバルに挑戦し続けます。
1. 私たちは、人々の健康、幸せ、そして希望の実現を目指します。
1. 私たちは、一人ひとりが新たな知識や技術・技能の向上に努めます。
1. 私たちは、常にコンプライアンスを重視し、公正且つ誠実に業務を遂行します。
1. 私たちは、環境に配慮して、地域社会と融和に努めつつ、これからも社会に貢献し続けます。

オリザ油化株式会社
代表取締役社長 村井 弘道

02. インパクトの特定と KPI・目標設定 New!

オリザ油化は、2024 年 12 月に株式会社大垣共立銀行（頭取：林敬治）と、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱したポジティブ・インパクト金融原則に即したポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資契約を締結しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「PIF」）は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによる SDGs 達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

【環境】

◆ CO₂ 排出量削減に向けた取組

インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・環境負荷低減のために、省エネ設備への更新・グリーン商品の購入推奨、エアコン温度の調整、CO ₂ フリー電力など CO ₂ 排出量削減に向けた取り組みを推進する
KPI と目標	期限：2030 年度 CO₂ 排出量(スコープ 1+2)を 2021 年度対比 42%削減する

◆ 廃棄資源の有効活用に向けた取組

インパクトの種類	環境的側面においてポジティブインパクトを拡大 環境的側面においてネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」「資源効率・安全性」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・アップサイクリング原料の採用や未利用資源の活用を増やし、資源の有効活用に向けた取り組みを推進する ※食品業界等における廃棄物や副産物に新たな付加価値を持たせ再利用するための原材料 ・環境マネジメントシステムの導入により、更なる観光対策強化に取り組む
KPI と目標	① 期限：2030 年度 アップサイクリング原料の採用数を 32 製品まで増加させる ② 期限：2025 年度 ISO14001 を取得し、以降維持する

【労働環境】

◆ 働きがいのある職場環境の整備

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・ダイバーシティ経営の推進により多様な人材が活躍できる職場環境を整備する
KPI と目標	① 期限:2030 年度 海外人材の採用を進め、 海外人材比率 10%以上 を目指す ② 期限:2030 年度 女性管理職(主任以上)の登用を進め、 女性管理職比率を 50%以上 とする ③ 期限:2030 年度 グローバルに活躍できる人材育成支援を行い、 従業員一人当たりの平均教育・研修時間を 40 時間／年以上 とする

【持続可能な資材調達】

◆ 安心安全な商材の提供による健康と美の追求、 および、開発途上国等の素材活用による国際貢献

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・品質管理の徹底による安心・安全な商材を提供し、消費者の健康と美を実現する。 ・世界各国のニーズに応え、ニッチでユニークな製品開発により海外向け販売シェア拡大 ・海外の顧客ニーズに応えるための技術開発に取り組み、海外特許取得数を増やす
KPI と目標	① 期限:2030 年度 ハラル認証数を 191 件 まで拡大する ② 期限:2030 年度 国内向け売上を向上しつつ、海外向けの売上高シェアを 50%まで 拡大する ③ 期限:2030 年度 海外特許取得件数を 30 件 まで拡大する

◆ 持続可能なサプライチェーンの構築

インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 経済的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・環境や社会に配慮した資材調達実現に向けてサプライヤーへの協力を求め、原料調達やサプライチェーンにおける児童労働・強制労働を排除するためのアンケート調査を継続実施し、更なる改善に取り組む
KPI と目標	① <u>期限:2030 年度</u> サプライヤーへのアンケート調査の回収率 100%とし、サプライヤーへの「オリザ油化・サプライヤーCSR 行動規範」の浸透度を高め、調査結果を基に資材調達方法の見直し・改善を進める

◇ モニタリングとレビューについて

【オリザ油化社内】

- ・各目標に関連する会議を定期的に行い、進捗を確認する。
- ・新年度のオリザ油化方針説明会(毎年 1 月開催)にて、前年度の結果報告を実施し、設定した KPI の進捗状況(中間結果)について会社全体で確認、新年度の目標を共有する。

【大垣共立銀行への報告】

大垣共立銀行との会合を少なくとも年に 1 回実施し、設定した KPI の進捗状況について確認・報告を実施する。

03. 環境



---◆環境方針◆---

私たちは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、事業活動の全般において、地球環境に配慮した環境活動を実施します。

1. 当社のあらゆる業務において、環境汚染を防止し、環境目的・目標を定め、環境活動の継続的改善を行います。
2. 適用可能な環境関連の法律及び規制、協定等を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
3. 事業活動を通じて、省資源・省エネルギーにより廃棄物・廃液の排出や電気の使用等の抑制に努め、循環型社会を形成するうえでグリーン購入を推進します。
4. 全従業員に環境教育を実施し、環境方針を周知・理解するとともに環境への意識と知識の向上を図ります。
5. 環境方針は開示し、一般の人が入手可能にします。

(2020年12月18日制定)

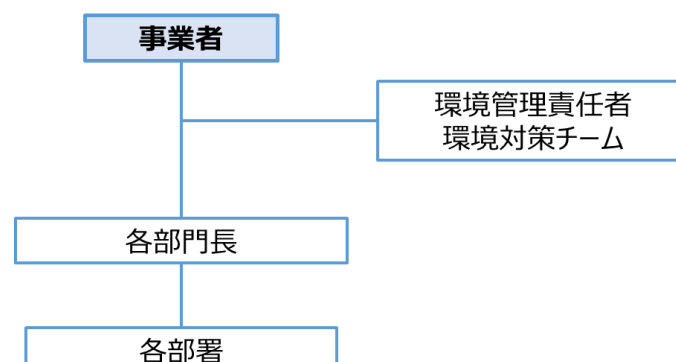
(2024年12月19日確認)

品質保証部 部長

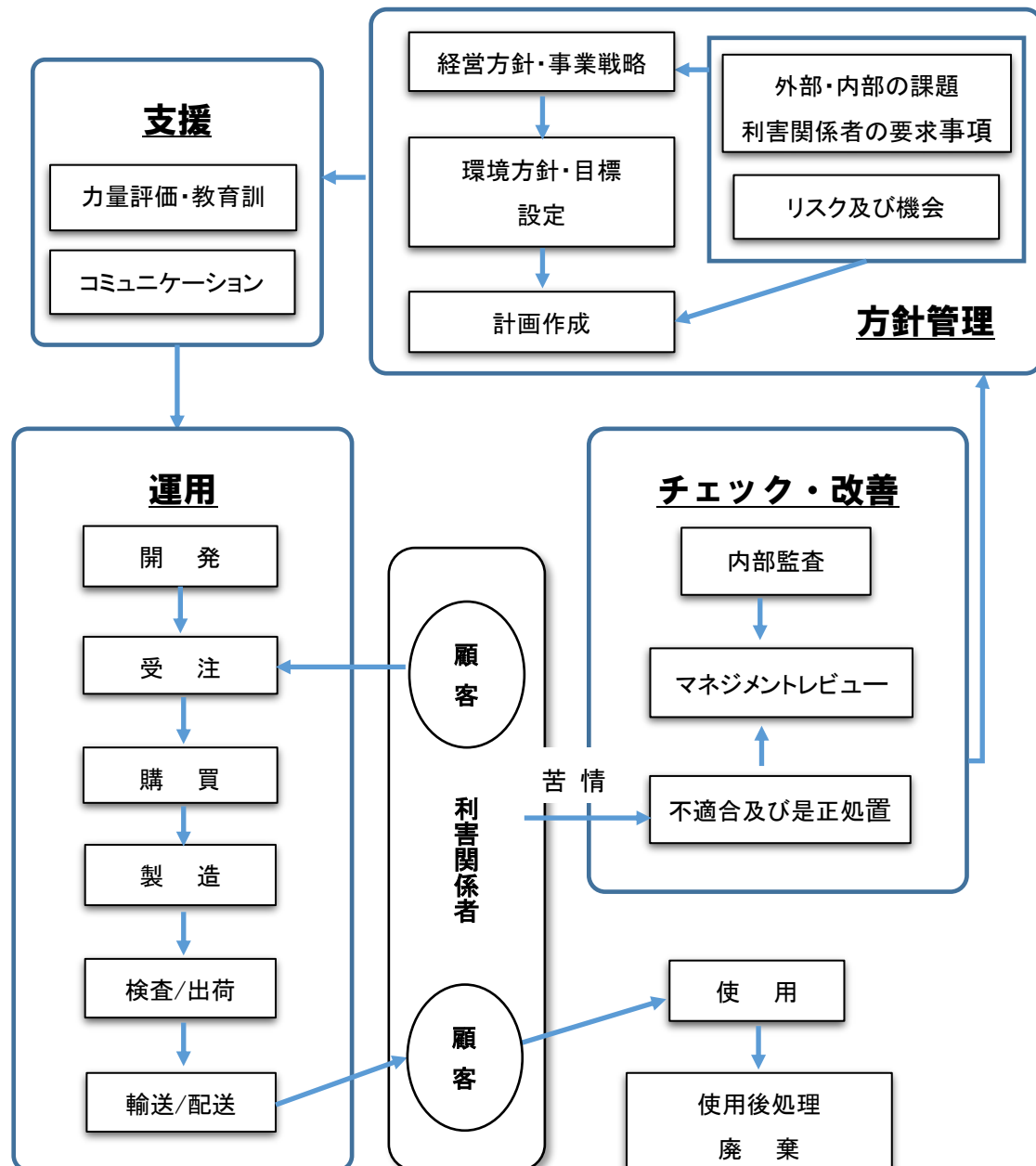
□環境管理体制

オリザ油化は、環境方針の徹底、環境目標の管理、教育・訓練、内部監査、是正処置、マネジメントレビュー等の実施により、環境マネジメントシステムの適切性、妥当性及び有効性を継続的に改善することで、環境パフォーマンスを向上させていきます。

◎環境管理責任者・環境対策チームの設置



◎プロセス概要



□環境への取り組み

オリザ油化では、地球環境に配慮した下記の環境活動を実施しています。

- ・食品業界の産業廃棄物を有効活用
 - ⇒ アップサイクリング原料採用：29 製品
- ・米油抽出残渣(脱脂米ぬか)を飼料・肥料化
- ・グリーンエネルギー(CO₂フリー電気)の導入 (New!)
- ⇒ 2024 年 4 月より導入(全体の電気使用量 10%分)
- ・受託案件において、SAF 燃料への貢献 (New!)
- ・国連グローバル・コンパクト(UNGC)へ署名(2024 年 2 月～) (New!)
- ・グローバル・コンパクト・ネットワークジャパンへの加入(2024 年 2 月～) (New!)
- ・ISO14001 実行委員会による ISO14001 取得に向けての準備
- ・SDGs・CSR 委員会の開催(年 4 回)
- ・排水計量(外部分析:月 1 回、自社分析:毎日)
- ・ばいじん、窒素酸化物計量(年 1 回)
- ・周辺地域の清掃活動(月 1 回)
- ・システム化の推進、電子印の採用(開発部・品質保証部:2021 年 7 月～)
- ⇒ 紙使用量の削減
- ・システム化により、紙の請求書の発行・郵送を廃止 (New!)
- ⇒ 紙使用量の削減・郵送時に発生する CO₂ 削減
- ・資源回収
 - ⇒ 段ボール・古紙(月 2 回)・保管期限が満了した書類(隔年)
- ・産業廃棄物の適切な管理
- ・クールビズ・ウォームビズの推進・冷暖房の推奨温度設定
- ・資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え
 - ⇒ 紙、プラスチック使用量の削減
- ・設備更新による省エネ計画の策定
 - ⇒ 蒸気トラップの更新(高性能品の採用) (New!)



← 清掃活動(除草)



↑ 新脱臭棟

中小企業向け SBT「1.5℃目標」認定を取得!(2022 年 9 月)

■ Science Based Targets (SBT)について

Science Based Targets は、パリ協定(世界の気温上昇を産業革命前より 2℃を十分に下回る水準(Well Below 2℃)に抑え、また 1.5℃に抑えることを目指すもの)が求める水準と整合した、5 年~15 年先を目標年として各企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、SBT は国連グローバル・コンパクト(UNGC)・カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)・世界資源研究所(WRI)・世界自然保護基金(WWF)の 4 つの機関による共同イニシアチブ(SBTi)によって認定されます。



□オリザ油化 CO₂ 排出量削減目標

Scope	基準年	目標年	単位	概要
1+2	2021 年	2030 年	総量	1.5℃水準

目標達成に向け、全社員一丸となって取り組んで参ります!

□環境パフォーマンスデータ

オリザ油化では、事業活動における環境負荷の把握を行い、環境配慮への意識を高め、省資源・省エネルギー化に取り組んでいます。

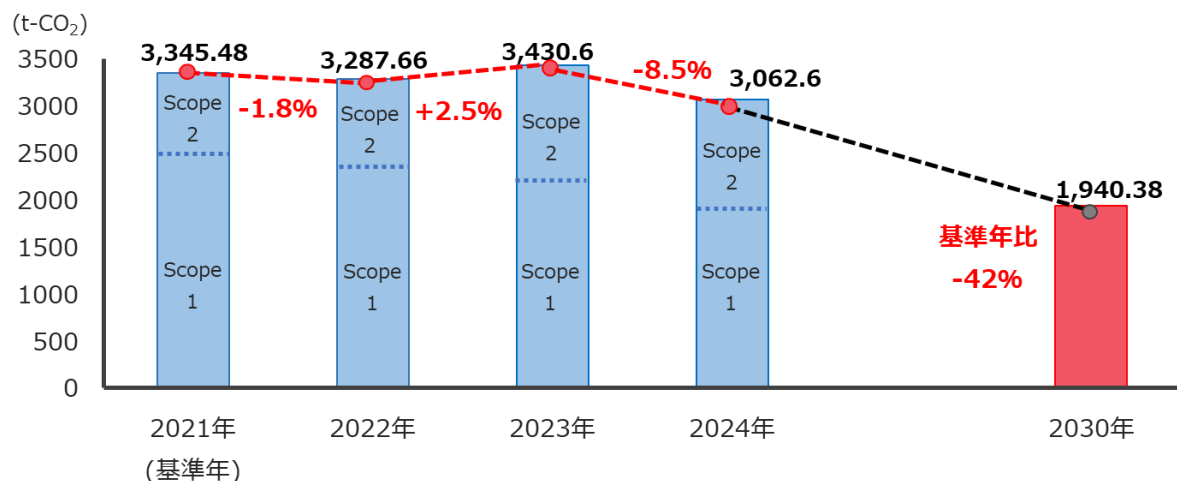
◎ CO₂ 排出量

スコープ	2021年 (基準年)	2022年	2023年	2024年	前年度からの 削減量(t-CO ₂)	基準年からの 削減量(t-CO ₂)
スコープ1 排出量(t-CO ₂)	2,516.57	2,439.66	2,409.16	2,181.33	227.83	335.24
スコープ2 排出量(t-CO ₂)	828.91	848.00	1,021.47	881.25	140.22	52.34増加
合計(t-CO ₂)	3,345.48	3,287.66	3,430.63	3,062.58	368.05	282.90

【算定範囲】

組 織 的 範 囲	【算定対象：2事業所】
	オリザ油化(株) 本社（一宮市）工場／東京事務所
	【関連会社（連結対象事業者）】
	(株)アルゴス／子会社 本社（一宮市）
	【算定対象外】
	ORYZA(THAILAND)CO.,LTD. タイ現地法人

【年別 CO₂ 排出量と削減率（スコープ 1+スコープ 2 の合計）】



※スコープ 1： 蒸気トラップ更新によって CO₂ 排出量削減に成功

※スコープ 2： 電気の使用量は前年度より僅かに減少

4 月から導入した CO₂ フリー電気購入により、前年度より大幅に削減成功。2025 年度は、CO₂ フリー電気購入量を増やし、更なる削減を目指す。

◎電力使用量 《CO₂フリー電気の購入開始(全体使用量の10%分)》New!

	2021年	2022年	2023年	2024年	前年度からの削減量(MWh)
電力使用量(MWh)	2,185.52	2,235.81	2,226.75	2,226.53	9.06
CO ₂ フリー電気購入量(MWh)	—	—	—	175.95	—

◎水使用量

	2021年	2022年	2023年	2024年	前年度からの削減量(m ³)
総使用量(m ³)	261,904	259,289	247,083	260,790	12,206増加

◎産業廃棄物量

	2021年	2022年	2023年	2024年	前年度からの削減量(kg)
産業廃棄物(kg)	369,727	360,734	311,170	303,986	7,184
内)再利用・再生利用量(kg)	346,797	330,724	286,360	294,996	-
再利用・再生利用率(%)	93.8	91.7	92.0	97.0	-

◎資源回収量

	2021年	2022年	2023年	2024年
紙回収量(kg)	4,480	-	2,090	-
ダンボール・古紙回収量(kg)	9,000	10,400	10,520	11,860
金くず回収量(kg)	32,467	10,750	8,780	5,530

□資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え(一例)

- ・官能検査用プラスチックスプーン: 紙スプーンへ切り替え(品質管理課:2022年5月～)
⇒ プラスチック使用量の削減

- ・コピー用紙: PEFC 認証品へ切り替え(本社:2022年4月～)

※PEFC 森林認証プログラムは、国際的な森林認証制度の一つです。

- ・ペーパータオル: FSC 認証品を採用

04. 労働安全衛生



---◆労働安全衛生方針◆---

私たちは、全ての従業員の安全と心身の健康が会社にとっての最重要基盤であることを認識し、事業活動の全般における全ての従業員の安全衛生、及び心身の健康増進活動に取り組めます。

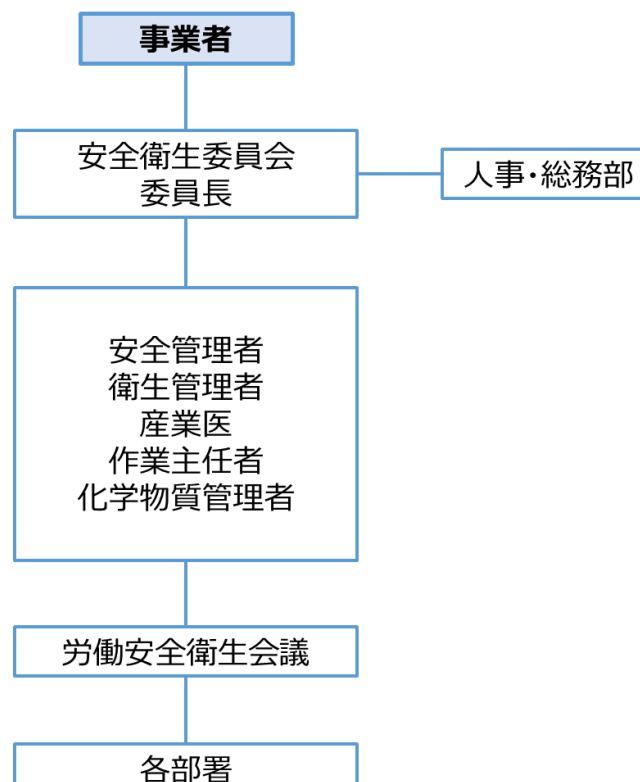
1. 労働安全衛生法、及びその関連法規、社内規定を遵守し、全ての従業員の危険、健康障害を防止します。
2. リスクアセスメントを実施することにより、労働災害の要因や予防策を把握し、「労働災害ゼロ」を目指します。
3. 社内のコミュニケーションの活性化・円滑化を図り、全ての従業員の心身の健康維持、及び増進を積極的に支援します。

(2022年9月30日制定)

(2024年12月19日確認)

工場長

□労働安全衛生、健康維持・増進の体制



□安全衛生の取り組み

オリザ油化では、労働災害ゼロを目標に下記の取り組みを実施し、労働災害の予防・意識向上に努めております。

- ・労働安全衛生会議（安全衛生委員会、毎月１回）
- ・KYT(危険予知トレーニング)活動（各部署、毎月１回）
- ・7S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・殺菌・洗浄)活動（全体報告会、毎月１回）
- ・リスクアセスメントの実施（溶剤、試薬使用部署、年１回）
- ・各種資格取得・講習受講
- ・設備・機器の点検、及び校正
- ・保護具(腰)の導入
- ・災害事例の周知(水平展開)
- ・食中毒の対応策(水平展開)
- ・熱中症の対策策(水平展開)
- ・防災訓練（工場：年１回、事務所棟：年１回）



↑アース環境サービス株式会社様 定例報告会・勉強会（月１回開催）



↑防災訓練（12月23日実施：全体点呼）



↑防災訓練（消火訓練）

□労働災害発生状況

2024 年の労働災害発生状況は、不休業災害 2 件、休業災害 0 件、死亡災害 0 件でした。

災害発生場所を改善し、今後もリスクアセスメントの実施や、KYT 活動、7S 活動を通して、労働災害の発生を予防していきます。

<件数>

	不休業災害(件)	休業災害(件)	死亡災害(件)	計(件)
2022 年	1	0	0	1
2023 年	1	1	0	2
2024 年	2	0	0	2

<比率>

	労働災害度数率	労働災害強度率
2022 年	0	0
2023 年	4.5	0.05
2024 年	0	0

2025 年目標：労働災害 0

【用語説明】

◎「労働災害」とは、労働者が業務遂行中に業務に起因して受けた業務上の災害のことで、業務上の負傷、業務上の疾病（休業 1 日以上及び身体の一部または機能を失うもの。）及び死亡をいう。ただし業務上の疾病であっても、遅発性のもの（疾病の発生が、事故、災害などの突発的なものによるものでなく緩慢に進行して発生した疾病。例えば、じん肺、鉛中毒症、振動障害など。）及び食中毒、伝染病は除く。（通勤災害による負傷、疾病及び死亡は除く。）

◎労働災害の状況は次の労働災害率（度数率及び強度率）並びに労働損失日数で表す。

・「度数率」とは、100 万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。

[算出方法]
$$\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000,000$$

（注） 同一人が2回以上被災した場合には、死傷者数はその被災回数として算出する。

・「強度率」とは、1,000 延実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。

[算出方法]
$$\frac{\text{延労働損失日数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000$$

（※延労働損失日数の算出方法の記載省略）

□従業員の健康維持・増進の取り組み

オリザ油化では、全ての従業員の心身の健康維持、及び増進を積極的に支援する活動を行っています。

- ・健康診断(全従業員対象、毎年 1 回)
- ・特殊健康診断(有機溶剤取扱者、毎年 2 回)
- ・保健師、栄養士による保健指導
- ・人間ドック助成制度 (女性・男性特有疾病項目の追加助成開始 2023 年～)
- ・インフルエンザ等感染症予防接種助成制度
- ・感染症対策の非接触型体温測定器の社内設置
- ・健康チェック(全社員、毎朝)
- ・ストレスチェック(全従業員、毎年 1 回)
- ・時間外労働の管理(申請・指示承認・上限規制管理)
- ・時短勤務・テレワーク勤務の体制確立
- ・メンタルヘルス相談窓口の設置(人事・総務部)
- ・メンタル不調者の発生予防、休養・休職時の復帰支援
- ・人事・総務部による健康経営講習・禁煙講習の実施
- ・人事・総務部・各部署上長による個別面談の実施
- ・社員の健康管理を目的とした宅配型社食サービス「Office Premium Frozen」の導入 (化学的合成添加物・遺伝子組み換え食品・環境ホルモン物質不使用)
- ・スポーツ庁の官民連携プロジェクト「FUN+WALK」への参加促進

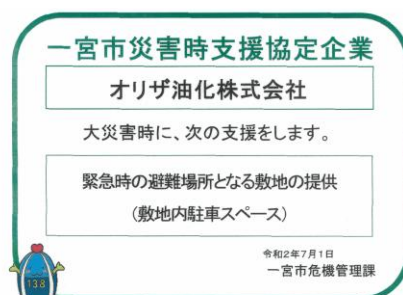
◎外部認定

- ・「健康経営優良法人 2024」認定 **New!**
- ・「一宮市災害時支援協定企業」認定
- ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所」認定
- ・「健康宣言チャレンジ事業所」認定



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

126522



05. 労働環境



---◆労働環境方針◆---

私たちは、全ての従業員の仕事と生活の調和を推進し、働きやすい職場環境の整備と向上に努めるとともに、やりがい、及び個々の能力開発を積極的に支援します。

1. 性別、年齢、国籍の差別を排除し、全ての従業員が働きやすい環境の整備、向上に取り組めます。
2. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進します。
3. 人材教育の環境を整え、能力開発を積極的に支援することで、グローバルな人材育成を目指します。
4. ハラスメント行為(パワーハラスメント、マタニティハラスメント、育児・介護に関するハラスメント、セクシャルハラスメント、その他ハラスメント)を断じて許さず、安全で快適な職場環境づくりに取り組めます。

(2022 年 9 月 30 日制定)

(2024 年 12 月 19 日確認)

総務部 部長

□全従業員が働きやすい環境の整備、向上の取り組み

オリザ油化では、労働環境を整えるという事業者の義務を果たすため、ワーク・ライフ・バランスを推進し、従業員の満足度が高まるよう、労働環境の整備、向上に努めています。

- ・国籍を問わない雇用制度
- ・産前・産後休暇、育児休業、育児・看護休暇、介護休業制度、および、復帰支援体制の確立
- ・女性社員の活躍支援
- ・時短勤務、テレワーク勤務制度
- ・定年後の再雇用制度
- ・有給休暇付与制度、および特別休暇付与制度
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・教育・研修の実施、及び支援体制
- ・各種ハラスメント行為の防止体制(研修・水平展開)・社内ホットラインの開設
- ・福利厚生の実充実 **New!**
(各種社会保険、職場 iDeCo・つみたて NISA の奨励金制度、財形貯蓄退職金制度、従業員持株制度、各種クラブ活動、社員旅行(海外中心)、ゴルフ場、リゾートトラスト優待、その他優待施設、等)
- ・国連グローバル・コンパクト(UNGC)へ署名(2024年2月～) **New!**
- ・グローバル・コンパクト・ネットワークジャパンへの加入(2024年2月～) **New!**

□海外人材の採用実績(累計)

職種	人数	国	勤務地
営業	5名(男1、女4)	中国、マレーシア、台湾 New!	本社
研究開発	4名(男3、女1)	中国、ミャンマー	本社
品質保証	1名(女1)	シンガポール	本社
製造	2名(男1、女1)	フィリピン(日本永住者)	本社

□人材関連データ

職種	2021年	2022年	2023年	2024年
社員数 ※4月1日付 (非正規雇用含む)	106名 (男性70、女性36)	110名 (男性68、女性42)	109名 (男性67、女性42)	113名 (男性71、女性42)
新卒採用数	1名 (男性0、女性1)	4名 (男性0、女性4)	1名 (男性1、女性0)	2名 (男性0、女性2)
海外人材比率	—	—	5%	5% New!
女性役職者数と 比率(主任以上)	13名 (—)	14名 (—)	17名 (33%)	17名 (34%) New!
時間外労働 月平均	16時間50分	16時間50分	12時間40分	16時間10分
有給休暇取得率 (取得率の平均)	58%	60%	80%	77%
育児休業取得率	100%	100%	100%	100%
定年後再雇用率	100%	100%	100%	100%

□人材教育の取り組み

オリザ油化は、人材教育の環境を整え、従業員一人ひとりの能力開発を積極的に支援しています。1-3年目を若手社員の重点教育期間とし、社会人としての基礎から業界の知識までを学べる研修、管理職(幹部候補含む)・中間管理職のマネジメント研修等の階層別研修を設けています。また、個人の能力開発では、学会・セミナーへの参加や、資格取得の支援にも力をいれており、研究開発人材の育成として、博士号取得の支援や、大学との共同研究も行っております。

	階級別研修 (キャリア形成)	能力開発			福利厚生 セミナー
		部門教育	自己啓発	全体教育	
管理職					
中間管理職	マネジメント研修	各部門専門教育(セミナー・講習会・学会等)	資格取得支援 通信教育・語学	労働安全・衛生管理・ISO・GMP SDGs・SBT	資産形成セミナー等
中堅・新入社員	3年目研修 2年目研修 OJT研修・新入社員研修(1年目研修)				

◇中間管理職
キャリアアップ重点教育期間

◇入社1-3年目
若手社員重点教育期間

□従業員 1人あたりの平均教育・研修時間

2023年の従業員 1人あたりの平均教育・研修時間は【 27.0 】時間となり、昨年より 30.4%増加しました。

2024年度は、タナベコンサルティングによる管理職マネジメント研修への参加や、部署毎のスキルアップ研修を実施しました。今後もグローバルに活躍できる人材育成の支援を積極的に行っていきます。

	2021年	2022年	2023年	2024年	増減率 (対前年)
1人あたりの 平均教育・ 研修時間	16.8時間	20.1時間	20.7時間	27.0時間	+30.4%

【2025年目標:29 時間】

□従業員 保有資格の種類 New!

薬剤師、食品衛生管理者、食品衛生監視員、管理栄養士、食品アドバイザー、食品表示検定、機能性表示食品検定(上級)、中級食品表示診断士、食品分析士、サプリメントアドバイザー、フードコーディネーター、HACCP 管理者、日本化粧品検定 1 級、品質管理検定、自主保全士、衛生管理者、危険物取扱者、**化学物質管理者**、有機溶剤作業主任者、特定化学物質作業主任者、乾燥設備作業主任者、アーク溶接技能、ボイラー技士、地下タンク点検技能、電気主任技術者 3 種、電気工事士、知的財産管理技能士、宅地建物取引士、JAS 格付担当者、JAS 品質管理担当者、浄化槽管理士、公害防止管理者、フォークリフト技能、貿易実務検定、高等学校教員免許、秘書技能検定、ホームヘルパー 2 級、他

◎表彰 (2024 年実績) New!

- ・技術賞 (ifia/HFE JAPAN 2024)
- ・Young Investigator Award (第 17 回セラミド研究会)
「米由来グルコシルセラミドの自然免疫応答における構造活性相関とその作用機序」
- ・品質表現卓越賞 (中国「新栄養展示会」 トマト種子エキス 『Lycolift®』)



◎外部認定

- ・「健康経営優良法人 2024」認定 New!
- ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動賛同事業所」認定
- ・「健康宣言チャレンジ事業所」認定
- ・「愛知県休み方改革 マイスター企業」認定



06. 持続可能な資材調達



---◆サステナブル調達方針◆---

私たちは、国内外の法律を遵守し、環境や社会への影響に配慮した資材調達を行います。

1. 原料調達や、サプライチェーンにおける児童労働・強制労働を排除するために、サプライヤーへの調査を実施し、改善に取り組みます。
2. 食品産業で廃棄物となる原料を有効活用することで、環境に配慮した製品を開発・提供していきます。
3. 製品の安定的な供給に努めるとともに、求められる品質の維持、およびサービスの品質向上に努めます。
4. 社内で使用する備品において、環境に配慮した製品を検討、選択していきます。

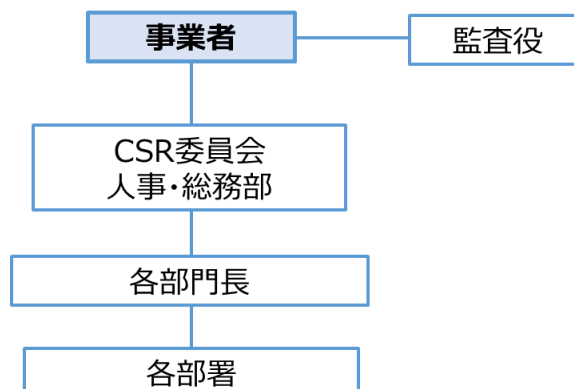
(2022 年 9 月 30 日制定)

(2024 年 12 月 19 日確認)

品質保証部 部長

□サステナブル調達体制

オリザ油化は、サプライチェーン全体での社会的責任ある調達活動が重要であると考え、サステナブル調達方針を実行するために CSR 委員会を設置し、運営しています。



□サステナブル調達への取り組み

オリザ油化では、環境や社会への影響に配慮した資材調達、製品開発を実施しています。

- ・SDGs・CSR 委員会の開催（年 4 回）
- ・国連グローバル・コンパクト(UNGC)へ署名(2024 年 2 月～) **New!**
- ・グローバル・コンパクト・ネットワークジャパンへの加入(2024 年 2 月～) **New!**
- ・サプライヤーCSR 行動規範を制定し、サプライヤーの皆様へ共有・協力を要請
- ・サプライヤー向けに CSR 活動の調査を実施(一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの「CSR 調達 セルフ・アセスメント質問表」を活用)
 - ⇒ アンケートの集計、分析、改善依頼を実施
- ・食品業界の産業廃棄物を有効活用
 - ⇒ アップサイクリング原料採用: 29 製品
- ・米油抽出残渣(脱脂米ぬか)を飼料・肥料化
- ・オーガニック認証取得原料を一部製品にて使用
- ・RSPO 認証、Bonsucro 認証取得原料(製品)を一部製品にて使用 **New!**
- ・ECOCERT 認証(Raw material)、COSMOS(Approved)認証を一部製品にて取得
- ・ISO 16128 に基づき、化粧品の自然及びオーガニックに係る指数の算出
- ・バイオマスナフサを原料とした資材を一部製品にて使用 **New!**
- ・受託案件において、SAF 燃料への貢献 **New!**
- ・製品品質、サービス品質の維持・向上のため、ISO22000:2018(食品安全マネジメントシステム)、健康食品 GMP、ISO22716 の認証取得・運営、および HACCP による衛生管理の実施
- ・製品品質・サービス向上: HALAL 認証取得 183 製品 **New!**
 - : 機能性表示食品届出受理数 14 素材 22 ヘルスクリーム **New!**
 - : 顧客満足度アンケートの実施
- ・製品の安定的な供給のため、BCP 計画の策定
- ・寄付活動
 - ⇒ 紫茶製品の売上の一部を、子どもの権利を推進し貧困や差別のない社会を実現するために 活動する国際 NGO プラン・インターナショナルへ寄付



・地域社会への貢献活動

- ⇒ 一宮市地域貢献企業認定の取得（活動分野：商工業振興、まちづくり・地域づくり） 一宮市災害時支援協定企業
- ⇒ オリザ油化創業の地、岐阜県笠松町への寄付を実施 **New!**
（国が認定した岐阜県笠松町の地方創生プロジェクトに対する支援）
- ⇒ 愛知県一宮市民団体主催の SDGs 活動「マー(ブ)ルクレヨン」に協賛 **New!**
（保存期間が過ぎた廃棄予定の米油を提供。米油は表面が汚れたクレヨンやクレヨンの型を綺麗にする際に活用されました）



・資材、社内備品の見直し、環境配慮品への切り替え

- ⇒ 紙、プラスチック使用量の削減

・官能検査用プラスチックスプーン：紙スプーンへ切り替え

- ⇒ プラスチック使用量の削減（品質管理課：2022 年 5 月～）

・コピー用紙： PEFC 認証品へ切り替え（本社：2022 年 4 月～）

※PEFC 森林認証プログラムは、国際的な森林認証制度の一つです。

・ペーパータオル： FSC 認証品を採用

◎外部認定

- ・ISO22000(食品安全マネジメントシステム)
- ・健康食品 GMP
- ・ISO22716(化粧品 GMP)
- ・HALAL 認証
- ・ECOCERT 認証(Raw material)、COSMOS(Approved)認証
- ・一宮市地域貢献企業認定



※一部取り組みの詳細を HP に記載しております → <https://www.oryza.co.jp/company/sdgs/>

---◆オリザ油化・サプライヤーCSR 行動規範◆-----

私たちは、経営理念の実現、および、持続可能な社会の実現のため、「オリザ油化 CSR 基本方針」に基づき、当社のサプライヤーであるお取引先様には、以下の項目の遵守を要請しております。

サプライヤーの皆さまにはお手数をおかけしますが、持続可能な社会に向けて、サプライヤーの皆さまと協同して取り組むことが必要不可欠であると考えておりますため、本行動規範の遵守へのご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

1. サプライヤーは、事業活動を行う国や地域の全ての法令を遵守します。
2. サプライヤーは、取引先、政治、行政、その他事業関係者との公正な関係を保ち、汚職、贈収賄、不正、詐欺行為など不適切な利益の供与、受理を行いません。
3. サプライヤーは、反社会勢力への関与を一切いたしません。
4. サプライヤーは、従業員、および、取引先等の関係者の基本的な人権を尊重します。
 - ・性別、年齢、障害の有無、人種、国籍、性別マイノリティー等に対する差別の禁止
 - ・各種ハラスメントの禁止
 - ・強制労働、児童労働の禁止
5. サプライヤーは、労働関連法規を遵守し、従業員の安全性と健康の維持、および、向上に努めます。
6. サプライヤーは、環境保全の重要性を認識し、生物多様性や温室効果ガス排出の抑制など環境に配慮した経営に努めます。
7. サプライヤーは、品質と安全の基準を満たした製品およびサービスを提供し、トレーサビリティの確保に努めます。
8. サプライヤーは、知的財産・機密情報・個人情報を適切に保護します。
 - ・当社ならびに第三者の知的財産侵害の禁止
 - ・機密情報、顧客や従業員などの個人情報を適切に保護し、不当な目的のための使用禁止

(2023 年 5 月 10 日制定)

(2024 年 12 月 19 日確認)

品質保証部 部長

□サプライヤーCSR 行動規範への協力・賛同依頼アンケート回収率 New!

	2023年	2024年	【2025年目標】
回収率(%)	89%	89%	93%

07. 倫理・情報セキュリティ



---◆倫理方針◆---

私たちは、法令・定款およびこの行動規範をはじめとする社内規程を遵守し、公正かつ倫理観をもって事業活動を行います。

1. 各国の法令・定款・自社の社内規程を遵守し、誠実に業務を遂行します。
2. 贈収賄、腐敗行為を断じて許さず、これらに関する法令を遵守します。
3. 利益相反行為、詐欺行為、マネーロンダリング、不正商取引を断じて許さず、これらに関する法令を遵守します。
4. 独占禁止法等の法令を遵守し、談合や優越的地位の濫用等、自由競争を阻害する取引を行いません。
5. 反社会的勢力の排除に関する法令を遵守します。
6. 会社に属する企業秘密の取り扱い、第三者の営業秘密、個人情報、および知的財産権の取り扱い等について、従業員への周知を徹底し、ます。
7. 誹謗中傷・差別的表現等、個人の尊厳・他社の信用を傷つける情報は発信いたしません。

(2022年9月30日制定)

(2024年12月16日改定)

代表取締役社長 村井弘道

---◆情報セキュリティ方針◆---

私たちは、当社、及びお客様の機密情報・情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき、情報セキュリティに対する取り組みを強化し、事業活動を行います。

1. 経営者主導で組織的かつ継続的な情報セキュリティの維持・向上に努めます。
2. 情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。
3. 会社に属する機密情報の取り扱い、第三者の機密情報、および知的財産権の取り扱い等について、従業員への周知を徹底し、情報セキュリティの維持・向上に努めます。
4. 従業員が情報セキュリティのために必要とされる知識を習得できる場・機会を設け、情報セキュリティへの意識向上に努めます。
5. 災害発生時の被害を最小限に抑えるために、従業員への教育・訓練を実施します。
6. 情報セキュリティに関わる法令違反や、事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

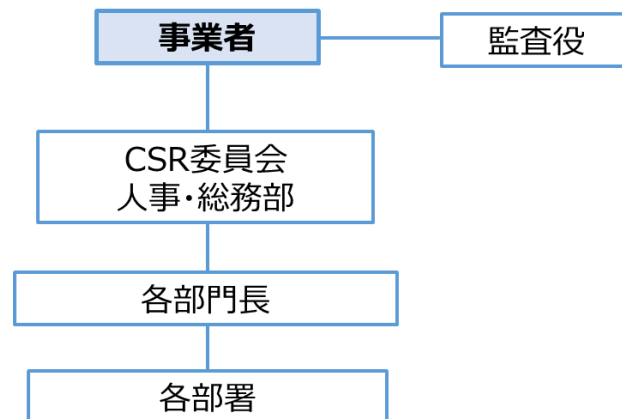
(2022年9月30日制定)

(2024年12月16日改定)

情報セキュリティ委員会 委員長

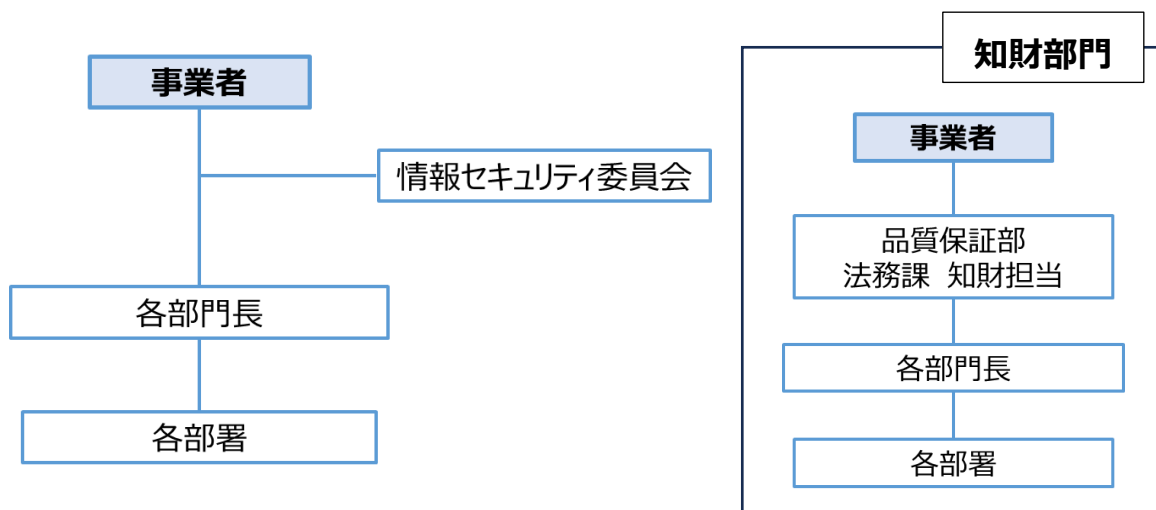
□企業倫理の体制

オリザ油化は、公正で誠実な企業文化を築くため、CSR 委員会、人事・総務部を中心に推進活動を行っており、従業員の企業倫理意識・やる気の向上、従業員・顧客様の信頼関係の構築につながるよう精進して参ります。



□情報セキュリティ体制

オリザ油化は、情報セキュリティ委員会を設置、運営し、情報セキュリティ対策を実施しています。また、特許等の知財部門について、専門の担当者が管理をしています。



□倫理・情報セキュリティの取り組み

オリザ油化では、各国・各種法令を遵守し、誠実かつ公正な企業活動を行うために、下記の取り組みを行っています。

- ・コンプライアンス研修（社内）
- ・特許・知的財産権研修（社内）
- ・各国・各種法令講習会への参加
- ・各種関連団体への参加（例：日本化粧品工業会、化粧品公正取引協議会 等）
- ・国連グローバル・コンパクト(UNGC)へ署名(2024 年 2 月～) **New!**
- ・グローバル・コンパクト・ネットワークジャパンへの加入(2024 年 2 月～) **New!**
- ・サプライヤーCSR 行動規範を制定し、サプライヤーの皆様へ共有・協力を要請
- ・サプライヤー向けに CSR 活動の調査を実施(一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの「CSR 調達 セルフ・アセスメント質問表」を活用)
⇒ アンケートの集計、分析、改善依頼を実施
- ・情報セキュリティ委員会の設置
- ・情報セキュリティ委員会による情報セキュリティに関する情報発信（月 1 回程度）
- ・メールアカウント PW の定期的な変更時期等のマニュアルを作成 **New!**
- ・定期的な PC のウイルスチェック、データバックアップの実施
- ・各種ハラスメント行為の防止体制(研修・水平展開)・社内ホットラインの開設

□国内・海外特許取得(登録※)件数（※現在登録されている件数の合計） **New!**

	2023年	2024年
国内	73件	80件
海外	20件	20件

オリザ油化は、健康に役立つ機能性をもつ

食品・化粧品素材の開発をめざしています。

多品種の機能性素材を生産し、多くの情報

を有しております。

お気軽にお問い合わせください。

オリザ油化株式会社

本社

〒493-8001 愛知県一宮市北方町沼田1番地

TEL: (0586)86-5141 (代表) FAX: (0586)86-6191

E-mail: info@oryza.co.jp

URL: <https://www.oryza.co.jp/>

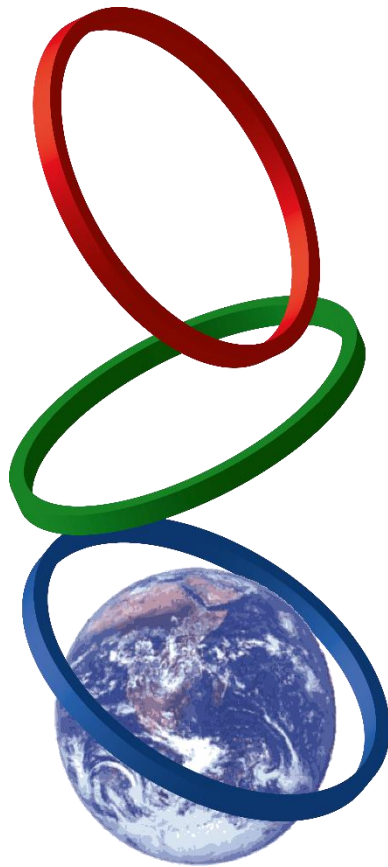
東京営業所

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 デイアモンドビル 5F

TEL: (03)5209-9150 FAX: (03)5209-9151

E-mail: tokyo@oryza.co.jp

発行日: 2025 年 5 月 30 日



ORYZA OIL & FAT CHEMICAL CO., LTD.